

授業概要

本授業では近代日本の歴史を取り上げ、主に日本政治の歩みを概説的に講義する。特に、江戸封建体制から近代国家へと転換する時代潮流にあって、日本はどのように国内体制を構築し近代政治を展開したのか、そして対外的には国際社会のなかで日本はどのような行動をしたのか、という点に着目をしていく。それにより、近代日本の内政と外交の実相を理解し、日本の近代化の特質を考えていきたい。

なお、適宜ビデオ教材も使用しつつ、授業内容への理解を深めていくこととする。

授業計画

第 1 回	授業の進め方の説明
第 2 回	江戸幕府の崩壊と新秩序の模索
第 3 回	近代国家の建設
第 4 回	大日本帝国憲法の制定と議会の開設
第 5 回	国制の構築と条約改正への道
第 6 回	朝鮮問題と日清戦争
第 7 回	日清戦争後の内政と外交
第 8 回	日露戦争の開戦過程
第 9 回	日露戦後体制と韓国併合
第 10 回	大正デモクラシーと第一次世界大戦
第 11 回	第一次世界大戦後の政治と外交
第 12 回	政党政治の全盛と陥穽
第 13 回	非常時日本の大転換
第 14 回	日中全面戦争と真珠湾への道
第 15 回	アジア太平洋戦争下の日本
第 16 回	筆記試験

到達目標

近代日本の「光」と「影」を学ぶことを通じて、その歴史的意味を理解するとともに、それらが現代に問いかけているものを認識できるようにする。

履修上の注意

- (1) 歴史に興味のある学生を対象としていることを特に強調しておきたい。
- (2) 遅刻 3 回で欠席 1 回と見なす。
- (3) 授業中の「私語」は厳禁

予習・復習

- (1) 授業で取り上げるテキストの箇所は、授業内容を理解しやすくするためにも、毎回必ず事前に読むなどの予習を徹底すること。
- (2) 授業の理解度をチェックするための小テストを適宜実施するので、復習を心がけること。

評価方法

学期末試験〔論述形式〕70%と小テスト 30%の合計点で成績評価を行う。

テキスト

- 教科書名：日本政治史
- 著者名：清水唯一朗・瀧井一博・村井良太
- 出版社名：有斐閣
- 出版年 (ISBN)：2020 年 (978-4-641-15070-6)